

ガルーダ サポーターズ ニュース

GARUDA SUPPORTERS NEWS NO.1



(ここにリアンさんの写真が入ります)



はい、記念撮影



懇親会で



みんなでカラオケで

一月二五日、懇親会のようす

リアンさんより

私はスプライト・マルディリアント、通称「リアン」と呼ばれています。私は東京都立の東村山ナーシングホームで介護福祉士候補者として研修・就労しています。私はひとりですが、日本で働けることをうれしく思っています。

私に対して、ナーシングホーム職員の皆様がとても親切で、仲良くしてくれて、介護の仕事をたくさん教えてくれます。最初はこの仕事が難しくきついと思いましたが、根気よく頑張っ

て日々を過ごしています。私は6ヶ月間、大阪(国際交流基金関西国際センター)で日本語を勉強しました。すばらしい先生方に教えられたお

かげで、まったく日本語がわからない状態から、今もまだことばがうまく話せないのですが日本語が理解できるようになってきています。

すべてにおいて、ナーシングホームの方々の支え無しではできないことだと思っています。

また、ナーシングホームが付けてくれた通訳者がいつも私を励まし、困った時に助けてくれるおかげでもあります。

全国のみなさん、これからもよろしくお願いします。



はじめのご挨拶

ニュース第1号です。やっと発行できました。1月25日に『ガルダ・サポーターズ準備会』を設立し、さまざまな準備をしてきました。この間、たくさんの方々から入会・励ましやカンパなどをいただき胸が熱くなる思いでした。このニュースでは、会員の声、来日候補者の動きなど最新の情報・お願いしたいことなどをお伝えしていきます。今回は、皆さんに郵送しましたが、次回からはメールなどでお届けします。運営は、ほとんどボランティアの力でわれています。

来日候補者(インドネシア人看護師・介護福祉士候補者)は、現在全国各地の介護施設・病院での研修・就労の場に慣れることに精一杯の状況のようです。先日、休日に何人かと電話で話したのですが、休日でも勉強しているとのことでした。職場の方々に支えられ、緊張しながらもやっと暖かくなってきた日本の春を楽しもうとしているようです。(事務局・宮崎)

ガルダ・ネットワークが始動しました(1月25日)



『ガルダ・ネットワーク』とは、1月25日に設立された来日候補者当事者の会です。横の連携を密にし、相互情報交換と外に対しても情報発信をしていく会です。当初208名中25名の入会だったのが、現在は53名になっています。他の155名には、まだインフォメーションが出来ていない状況なので、今回、ニュースと入会案内を全員に送っているところです。

以下は1月25日にあいさつしたピンジョリさんとダセップさんのあいさつ文です。

今日は休日にもかかわらずおこしいたありがとうございます。私たちは日本に来て5ヶ月です。なので言葉や文化について勉強していますがまだまだです。ちょうど日本のしょうがくせいぐらいです。

私たちは来月それぞれの病院で働き始めます。そこではいろいろな問題もあると思います。私たち自身も不安がたくさんあります。

GARUDA-NETWORK は、私たちが日本での生活がよりのたのしく安心できるために EPA プログラムで来たインドネシア人同士がじょうほんこうかんや communication の場としてあります。私たち GAUDA-NETWORK がスムーズにきのうすることをねがっています。

私たちはまじめでやさしい看護師とかいごふくししになれるようがんばっています。

後にこのプログラムにくるくださった日本のせいふ、うけいれ病院のかたがた、ARUDA-SUPPORTERのかたがたやそのたのみなさま、ほんとにありがとうございました。(二人が日本語で書いたものです)

『ガルダ・サポーターズ準備会』と『受け入れ介護施設・病院交流会』も

同1月25日に、『ガルダ・ネットワーク』の団体と来日候補者個人のサポートを目的とする『ガルダ・サポーターズ』という市民団体の設立を目指し、準備会が発足。

また、『受け入れ介護施設・病院交流会』も開催され、19ヶ所の受け入れ施設などが受け入れ準備状況や不安などを率直に報告しあいました。数ヵ月後、再度交流会を持つことが確認されました。

第1回準備委員会が開催されました(3/1)

『ガルダ・サポーターズ』準備委員は、自ら準備委員になると意思表示してくださった方・あるいは事務局が声をかけさせていただいた方、またはたまたまその日の会に参加してくださった方も含めて「やる気」が合言葉で集まったメンバーで、19名(下記)です。見知らぬ始めて会う人たちが作り上げる会になってきました。4時間に及ぶ活発な討議の会議となり、具体的に「ガルダ・サポーターズ」を正式に設立するための準備と、それまでの具体的な活動について討議し、役割分担をしました。

- SOS コール相談 毎日夜 21 時まで専用携帯電話 1 台で対応。
- 現地訪問相談 その必要性を準備委員のメンバーで確認し随時対応する。
- ガルダ・ネットワーク「会員(来日候補生)へのインドネシア語での電話訪問
- 日本語習得の継続的支援のあり方の方策検討 プロジェクトを立ち上げ検討開始
- ホリデイ・ホームステイ事業企画検討
- 関西方面担当 益 加代子さん(神戸市立看護大学) 中村 大蔵さん(特養ホーム 園田苑)
- パソコン・携帯電話提供の可能性の模索
- ホームページ作り 早急に作る。目標4月オープン。
- ニュース発行 サポーターズ、ネットワーク向けに2種類のニュース発行
- 会則案作成 目的・会費などを討議。一般的な非営利型の団体会則をモデルに作成予定
- ガルダ・サポーターズ設立のつどいの企画 6月中旬を予定(大々的に)

準備委員のメンバー

- | | | |
|----|--------|-----------------------------|
| 1 | 益 加代子 | 神戸市看護大学助教 |
| 2 | 松野明久 | 日本インドネシア NGO ネットワーク代表/大阪大教授 |
| 3 | 本多敏子 | 日本国際協力センター |
| 4 | 富永さとる | パブリック・ベネフィット研究所代表 |
| 5 | 土井義昭 | 行政書士ドゥ福祉法務事務所代表 |
| 6 | 白仁田敏史 | グループホームあんのん代表 |
| 7 | 中村大蔵 | 阪神共同福祉会園田苑施設長 |
| 8 | 日下修一 | 宇都宮病院看護部長 |
| 9 | スジャラルオ | 大和田病院医師 |
| 10 | ニアマン | とりで診療所所長 |
| 11 | 丹 マウラニ | 通訳 |
| 12 | 桂木誠志 | 日本医療労働組合連合会 |
| 13 | 清沢聖子 | 東京介護福祉労働組合書記長 |
| 14 | 丹羽未紀子 | 主婦 |
| 15 | 武井幸穂 | 健和会副理事長 |
| 16 | 尾崎純郎 | 中央法規出版 |
| 17 | 林 亨 | メディカ出版 |
| 18 | 宮崎和加子 | 健和会・看護介護政策研究所所長 |

●準備委員はこんな人●



中ジャワ出身のマウラニです。早稲田大学に留学し、知り合った日本人男性と結婚し、2人の子どもの生まれ東京で暮らしています。専業主婦の傍ら、10年余り翻訳・通訳に従事した経験を生かして、みなさんと一緒に支援していきたいと思っています。



候補者は今・・・

給料が少ない・・・???

候補者は1月27日以降、半年間住んだ日本語研修施設をあとにして全国各地の介護施設・病院などに引越しました。歓迎会やあいさつ回りなどを終え、いよいよ現場での研修・就労を始めています。

2月下旬がはじめての給料日でした。ところが・・・。「ええっ、振込み額が7000円?」「半分しか振り込まれていない!? 説明を聞いたけれど難しい日本語でわからなかった。どうして?」こういう事態になっている人が少なくありません。理由は、日本の多くの場の給与の仕組みは2月末の給料は、1月働いた分の給料なのです。候補生は、1月はほとんど働いていないので日割り分のみ。なのに社会保険料などは天引きされる。3月の生活費に困り、地元の社会福祉協議会に駆け込んだ人もいます。推測では、多くの介護施設・病院が短期無利子貸付(あとで天引き)か、特別支給したのではないのでしょうか。日本人と同等の待遇なので、「以下」でもない代わりに「以上」の特別待遇も出来ないという事情だと思えます。

NHK のど自慢に出演か? 楽しみに!

隠岐の島で研修・就労している二人のインドネシア人候補者。先日 NHK 松江の取材を受けて放映されました。4月に日曜昼のNHKのど自慢が隠岐であります。二人は応募し予選に参加する予定だそうです。歌う曲は、みなさんご存知の五輪真弓の『心の友』。この曲は、インドネシアの第2



国歌かといわれるくらいインドネシア人に親しみがあり、皆さん歌える歌だ

そうです。二人はせめて予選突破し、全国の仲間に元気な姿を示したいと張り切っているそうです。

今回は、受け入れ介護施設・病院の状況も

受け入れ介護施設・病院のことは、今回は掲載できませんでした。資金面でも、その他の面でも多大な負担をしています。精一杯受け入れ、予測していなかった事態にどう対応するか苦心の日々ではないかと推測します。今回は、受け入れ介護施設・病院の様子もお伝えします。

事務局より

全国版、あるいは地域版のテレビやニュースにたくさん載っているようです。表紙の写真は、朝日新聞の一面です。記事やDVDなどを持っている方がいましたら、どうぞ送ってください。ホームページができたならそ

の中で紹介します。
今回は、振り込み用紙を同封し、一人でも多くの方にカンパをお願いしたいと思い郵送にしました。会費・カンパで成り立つ会です。これまで協力を下さった方もどうぞご協力をお願いいたします。

会員拡大にご協力ください。同封の入会案内をご利用を。

さまざまな情報もぜひお寄せください。ご意見・ご質問・ご要望なども! 正式設立までは、不定期発行です。

NO.1(創刊号) 2009.3.17

発行責任:ガルダ・サポーターズ準備会事務局

〒120-0022 東京都足立区柳原1-9-13

TEL 03-5284-3706 FAX 03-5284-3707

Mail: info@garuda-net.jp